

## 協会記事

理事会（平成 16 年度第 4 回）

平成 16 年 11 月 29 日（月），17：30～19：00，当協会役員室におい開催。

出席：肥田 昇（会長），嶋崎吉彦（副会長），野上道男（副会長），大島章一，大森博雄，田村俊和，長瀬和雄，西田耕一，三上岳彦，盛谷智之の各理事，田邊 裕監事（佐藤俊典監事は欠席）および事務局。

・議事録の承認：平成 16 年度第 3 回理事会議事録は承認された。

・報告事項：

### 1. 編集委員長報告：大島理事

10 月発行予定の 113 巻 5 号「特集号：観測的変成岩科学への革新」は遅れているが最終校正中で約 220 頁になる予定。6 号は通常号で通常論文 5 編に中越地震関連の速報 1 編（口絵と表紙）が急遽追加となった。その他地学クラブ講演要旨，春季講演会報告に総目次が加わる予定。114 巻 1 号（2 月発行予定）は通常号で，次回委員会で内容を検討する。114 巻 2 号（4 月発行予定）は特集「古地磁気研究の新展開（または最前線）」（仮題）で，山崎俊嗣（産総研）がまとめ役代表，19 編の予定。来年 114 巻 3 号の通巻 1000 号記念特集号は、『最近の地学』を仮題として「地球の構成」「プレート運動」「生命と過去の地球環境変動」「最近の地球環境変動」の 4 つの大きなテーマを軸として 12～13 編を掲載予定。来年掲載希望の特集申し込みが 2，3 あるが，掲載の方向で調整中。

### 2. 行事委員長報告：三上理事

10 月に実施した公開講演会は 100 名の参加があり，そのアンケート結果でも好評だったとの報告があった。また来春実施予定の「アフリカ巡検」について申し込み状況の報告があった。

### 3. 経理委員長報告：西田理事

資料により，9 月末での予算の使用状況の報告があり，租税公課以外はほぼ予定通り執行している。

### 4. 会館委員長報告：盛谷理事

来年 5 月の賃貸料改定期に向け，委員会を開いて検討しておきたいとの報告があり，意見の交換があった。

### 5. 広報委員長報告：田村理事

11 月 15 日に開催された委員会の内容が報告された。地学雑誌目次データベースおよびジオエキスパート事業案内について，委員会ではそれぞれの委員会がサイトを設けてリンクを張ってはどうという意見であったが，理事会としては討議の結果，広報委員会が一括管理するという原則は変えないとの結論になった。またホームページの更新・訂正については，広報委員会のメールアドレスで理事らからの指示や要望を受け付け，委員会が整理した上で業者に指示するという委員会案が了承された。さらに懸案であったトップページの更新は 12 月に行う予定と報告された。

### 6. 日本地学史編纂委員会報告：大森理事

11 月 22 日に開催された委員会についての報告があり，「地球化学」と「陸水学」部門の原稿が提出されたこと，また 1945 年から 1960 年の期間についての扱いをどうするかを次回検討することになったという。これに関連して「人文地理」部門の取扱いについて意見があった。

### 7. ジオエキスパート委員長報告：野上理事

現在約 10 名のエキスパートの登録を得ている。今後地学雑誌やホームページを使った広報を行う予定である。

### 8. 庶務担当事項報告：嶋崎理事

第 2 回評議員会の結果報告，第一建築サービス東京支店長急逝の報告，産総研「活断層データベース」に引用・転載を認める件，文科省への調査，報告を行なった件及び学会会議への情報提供の件が報告された。

### 9. その他

野上助成委員会委員長から，来年度の助成事業について来年度も今年と同様の募集会告を出すとの報告があり，了承された。

議 題：

1. 会員の入退会等の承認

入 会：工藤 崇，村中亮夫，里村幹夫，道林  
克禎，林 愛明，松林 武，吉田史郎，  
柳町 治 8名

退 会（逝去）：齋藤光格 1名

退 会：武内和彦，竹野哲夫，物部長進  
4名

会費免除会員：石山 洋，柏木日出治，式 正英，  
福田 理，藤井昭二，堀井 篤

計6名が承認された。

2. 平成17年度事業計画及び予算の基本方針について

平成17年度事業計画及び予算を策定する基本方針として、16年度並みという方針が提案され、了承された。

3. 日本学術会議会員候補者に関する情報提供について

嶋崎理事および野上学術会議会員から内容について説明があり、意見交換の後、この件については嶋崎、野上両副会長に一任することとなった。

4. その他

次期選挙の候補者推薦委員会を12月20日（月）14：30から開催する。